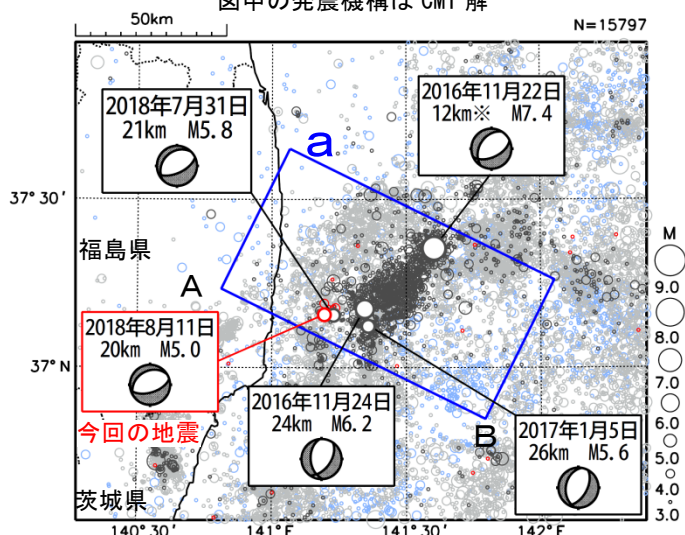


8月11日 福島県沖の地震

震央分布図

(1997年10月1日～2018年8月31日、
深さ0～100km、 $M \geq 3.0$)

2011年3月10日以前に発生した地震を○、
2011年3月11日以降に発生した地震を薄い○、
2016年11月22日以降に発生した地震を濃い○、
2018年8月に発生した地震を●で表示
図中の発震機構はCMT解



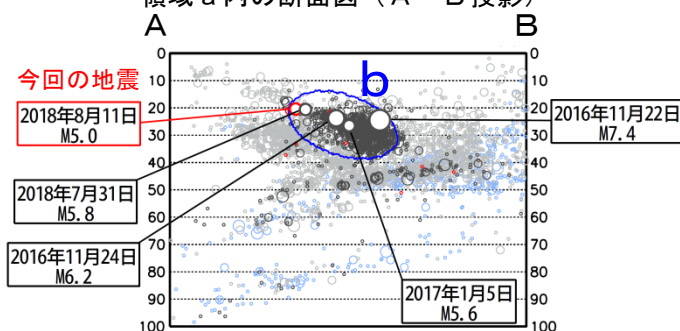
※2016年11月22日の地震(M7.4)の深さはCMT解による。

2018年8月11日06時11分に福島県沖の深さ20kmでM5.0の地震(最大震度4)が発生した。この地震は陸のプレートの地殻内で発生した。発震機構(CMT解)は北北西-南南東方向に張力軸を持つ正断層型である。

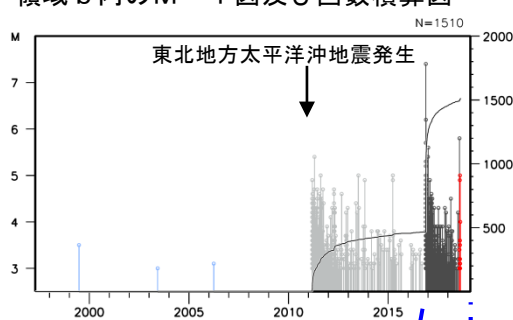
1997年10月以降の活動をみると、今回の地震の震源付近(領域b)では、東北地方太平洋沖地震の発生以降、地震活動が活発化した。地震活動が減衰傾向にあった中で、2016年11月22日にM7.4の地震が発生し、地震活動が再び活発となった。最近では、2018年7月31日にM5.8の地震(最大震度4)がほぼ同じ場所で発生している。

1923年以降の活動をみると、今回の地震の震央周辺(領域c)では、1938年11月5日にM7.5の地震が発生した。この地震により、宮城県花巻で113cm(全振幅)の津波が観測された。この地震の発生後、地震活動が活発となり、同年11月30日までにM6.0以上の地震が25回発生していた。これらの地震により、死者1人、負傷者9人、住家全壊4棟、半壊29棟などの被害が生じた(「日本被害地震総覧」による)。

領域a内の断面図 (A-B投影)



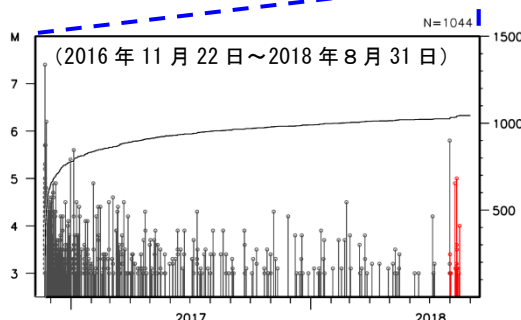
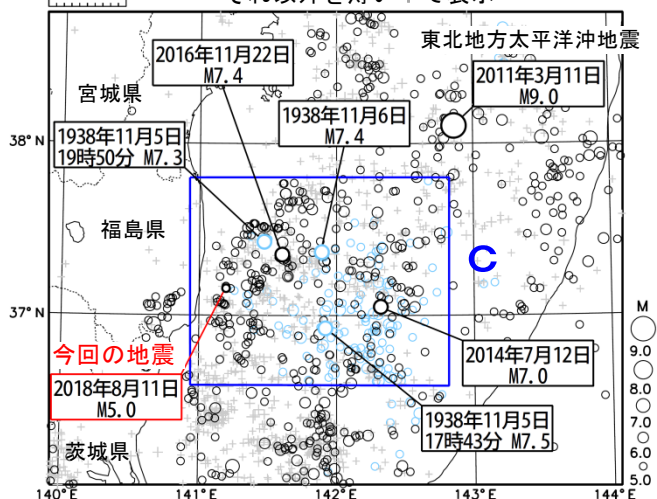
領域b内のM-T図及び回数積算図



震央分布図

(1923年1月1日～2018年8月31日、
深さ0～150km、 $M \geq 5.0$)

1938年11月1日～12月31日に発生した地震を○、
2011年3月11日以降に発生した地震を濃い○、
それ以外を薄い+で表示



領域c内のM-T図

